

新着本紹介

- 一般書 ○児童書



- しろがねの葉／千早 茜(著)／新潮社刊
- 家事は大変って気づきましたか？／阿古 真理(著)／亜紀書房
- ぼくたちが知っておきたい生理のこと／博多 大吉(著)／高尾 美穂(著)／辰巳出版



- ふゆのコートをつくりに／石井 睦美(文)／布川 愛子(絵)／ブロンズ新社
- ルルとララのティラミス／あんびる やすこ(作・絵)／岩崎書店
- マスク越しのおはよう／山 本 悦子(著)／田中海帆(絵)／講談社

年末年始の休館のお知らせ

休館日 12月29日(木)～1月3日(火)

謹賀新年

昨年は枕崎市立図書館をご利用いただき、ありがとうございました。今年も市民の皆様役に立つ情報提供や読書の推進に努めていきます。

身近な本棚・憩いの場として気軽にご活用ください。

新春 本の福袋

期間 1月4日(水)～

内容 通常の貸出冊数に加えて借りることができます(30セット限定)。

なくなり次第終了いたします。

フレッシュなあなたにすすめる本展

期間 1月4日(水)～12日(木)

内容 新成人の方や新たな人生の一步を踏み出す若い人におすすめの本を展示・貸出します。

休館のお知らせ

休館期間 2月1日(水)～15日(水)

本の点検・本の整理などの作業を行います。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

※本の返却はブックポストをご利用ください(朗読CD・紙芝居は破損するおそれがあるため除く)。



市立図書館 72-9254
ホームページ
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/

★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 1月10日～2月9日

日	月	火	水	木	金	土
		10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9		

- 休館日
- おはなしのへや 午後3時～(絵本と紙芝居の読み聞かせ)



●活動内容 毎月、「広報まくらざき」をCDに音訳し、視覚障害の方へお届けしています。
●今月の担当 竹原さん、濱田さん
●会員募集中 問い合わせは図書館まで。

枕崎の特色ある教育

「食育」「いのちの教育(がん教育)」の取り組み

問合せ 教育委員会 TEL72-0170

食育の取り組み

食は人間が生きていく上で欠かすことのできない大切なものであり、健康な生活を送るためには健全な食生活は欠かせないものです。また、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることは、人に生きる喜びや楽しさを与え、健康で心豊かな暮らしの実現に大きく寄与するものです。

本市では、各学校において、学校教育活動全体を通じて食育を組織的・計画的に推進しています。各学校では、栄養教諭の計画的な授業参画や生徒自らが弁当を作る「弁当の日」の実施、家庭教育学級などで食育に関する講話などを行っています。また、給食センターでは、地域の方々に学校給食について理解を深めてもらうため、給食試食会を実施しています。

栄養教諭による授業参画

各小・中学校において、栄養教諭が授業に参画し、組織的・計画的に食育の推進を図っています。

11月11日(金)には、枕崎中学校で、家庭科(1年生)の郷土料理「さつま汁」を献立とした調理実習の学習において、栄養教諭が肉や野菜の切り方、調理をする上での調理器具の安全な使い方について個別に指導を行いました。



11月21日(月)には、桜山小学校で、学級活動(2年生)の「好き嫌いをせずに何でも食べよう」の学習において、栄養教諭が好き嫌いをせずに食べることの大切さについて、にんじんや米、魚などの身近な食材を示しながら話をしました。



お弁当の日

10月から11月にかけて、市内の中学校では、地元の食材や特産物などをメニューに取り入れ、生徒自らが弁当を作る「弁当の日」に取り組みました。生徒自ら弁当を作ることで、郷土の食材を知り、郷土をより身近に感じ、より親しみをもつことができます。写真は、立神中学校の生徒が作ったお弁当です。



給食試食会(給食センター)

11月25日(金)に、給食センターで、学校給食について理解を深めてもらうことを目的として、地域の方々に地元の食材を使った給食を味わってもらう給食試食会を実施しました。10人の地域の方々に、子供たちに大人気の枕崎牛を使った献立の学校給食を味わっていただきました。



「いのちの授業(がん教育)」の取り組み

本市では、各中学校において、NPO法人がんサポートかごしまと連携し、「がんについて正しく理解することができるようにすること」「健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにすること」を目標として、担任によるがんの知識についての学習とがん体験者による「いのちの授業」を組み合わせた授業が行われています。10月25日(火)には、別府中学校において、がん経験者を講師にお招きし、お話をいただいたり、がんについての子供たちからの質問に答えていただいたりしました。また、亡くなった患者さんの話から「いのちのメッセージ」について話をしていただきました。今後も、各学校において、がんサポートかごしまと連携した「がん教育」を実施していきます。



防災掲示板



自主防災組織について

大規模な災害等が発生した場合には、市や警察、消防など(公助)は、すぐに駆けつけることができません。「自分たちの命は自分たちで守る」という気持ちで、普段から顔を合わせている地域住民がお互いに協力しながら、組織的に活動を行うことが重要です。現在、本市には68の自主防災組織が結成されています。この自主防災組織は、ほとんどが公民館単位で結成されています。結成されていない公民館については、地域の防災力強化のために自主防災組織の結成の検討をお願いします。市では、自主防災組織の結成、自主訓練等の活動に対して補助制度を設けています。事前に申請等が必要になりますので、下記までご相談ください。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL76-1086

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナーです。

今月のテーマ

サステナブルファッション



サステナブルファッションとは、衣服の生産から着用、廃棄に至るまでの環境負荷などを考慮したSustainable(持続可能)な取り組みの事です。

日本では、平均すると1日当たり大型トラック約130台分の服が焼却・埋立処分されています。下記に示す例のようにサステナブルファッションを心がけましょう。

- ・オーガニックコットンや再生原料などから作られた服を選びましょう。
- ・着なくなった洋服はリサイクルショップやフリマアプリを利用してリユースしましょう。
- ・1着を長く着ましょう(今ある服を今年捨てずにもう1年着れば、日本全体で約4万トンの廃棄物削減になります)。



問合せ 市民生活課環境整備係 TEL76-1097



健康づくり、生活習慣病予防、介護予防等に関する情報をお知らせします。

女性のためのがん検診

子宮の入口付近にできる「子宮頸がん」は、20～30歳代が最も多く、日本では毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかるといわれています。初期症状がほとんどないため、妊娠初期の検査で発覚することも稀ではありません。また、「乳がん」は女性がかかるがんの第1位で、40～50歳代をピークに年々増加傾向にあります。どちらにも早期発見・早期治療が重要です。女性がん検診は完全予約制を導入していますが、待ち時間が少なく受診できると毎年好評です。1年のうちの30分、自分のために女性がん検診を受けてみませんか。※個別に通知がない方でも受診可能です。

子宮頸がん検診

検診内容	自己負担金	国保の方
子宮頸がん検診	1,000円	500円
乳がん検診(40歳代) 乳房X線撮影2方向	1,600円	1,100円
乳がん検診(50歳以上) 乳房X線撮影1方向	1,000円	500円

※国民健康保険の方は、保険証を提示してください。
※次のいずれかに該当する方は無料になります。
・70歳以上(昭和28年4月1日以前生まれ)の市民
・市民税非課税世帯(世帯分)・生活保護世帯で証明書提示した方

「女性がん検診」と検索するか、以下の二次元コードを読み込んでください(24時間受付)。



問合せ 健康センター1 TEL7

【乳がん検診】
平成14年4月1日生
昭和58年4月1日以前生まれの女性
※クーポン対象者(今年度41歳の女性(昭和56年4月2日)～昭和57年4月1日生)
○検診会場 健康センター1
○検診日程 2月15日(水)
○予約受付期間 1月13日(金)～23日(月)
○予約先 電話による予約 県民総合保健センター 集団健診部 予約制 窓口 TEL0570048916
(平日のみ、午前9時～午後5時) インターネットでの予約 市ホームページから「女性がん検診」と検索